

## NEWSLETTER

No.91

13 January 2025

・ 2025 年地理学教室の行事記録	• • • 1
・ 第 22 回 地理ワークショップの開催	• • • 2
・ 2025 年度地理実習の記録	• • • 3
・ 卒業論文公開口頭試験について	• • • 9
・ 2025 年度卒業論文公開口頭試験日程	• • • 10
・ 国士館大学地理学会費の納入について	• • • 12
・ 地理学教室が発信する各種情報の QR コード	• • • 12

**【2025 年 地理学教室の行事記録】**

- 2月 6 日～ 8 日 卒業論文公開口頭試験（10号館 10212 教室）  
 在学生ガイダンス
- 3月 27 日～28 日 新入生オリエンテーション
- 4月 2 日～ 7 日 地理学野外実習 D (加藤コース：品川区とその周辺)  
 地理学野外実習 D (小山コース：筑波山)
- 4月 26 日 地理学野外実習 A (1年生実習：日帰り 2 日：専任教員 7 名) 川崎市麻生区黒川地区
- 5月 17 日 地理学野外実習 D (桐越コース：築地, 月島)
- 5月 21 日～22 日 地理学野外実習 D (磯谷コース：国立科学博物館附属自然教育園, 明治神宮「御苑」)  
 地理学野外実習 D (内田コース：栃木県真岡市, 益子町, 茂木町)
- 5月 24 日 国士館大学地理学会 総会・講演会・懇親会  
 ＜総会＞MCH 1階大教室 (講演会も同)  
 ＜講演会＞長尾謙吉先生 (専修大・本学非常勤講師)  
 「アメリカ合衆国の経済社会：地理は意外と重要？」
- 5月 31 日 ＜懇親会＞世田谷校舎 1号館 1階学生ホール
- 6月 14 日 地理学野外実習 D (佐々木コース：神奈川県藤沢市・江の島)
- 6月 21 日 卒業論文公開口頭試験 (9月卒業向け；10号館 10215 教室)  
 第 22 回 地理ワークショップ「アフリカ再発見：フィールドワークからひもとく現代アフリカ」 講師：水野一晴先生(京都大), 平山草太先生(東京大, 本学非常勤講師), 桐越仁美先生
- 6月 28 日 測量実習 2 (集中：村上真幸先生)
- 7月 11 日 国士館大学地理学会夏季巡査 「尾瀬および檜枝岐村方面の地理－地形と植生を中心にして」 (参加 7 名, 引率教員：磯谷達宏先生)
- 7月 26 日 地理学野外実習 D (岡島コース：東京都世田谷区)
- 9月 2 日～ 6 日 地理学野外実習 B (2年生実習：1泊 2 日：専任教員 7 名)  
 内 田：静岡県静岡市, 島田市, 金谷町, 掛川市  
 磐 谷：山梨県山中湖村とその周辺 岡 島：神奈川県小田原市・箱根町  
 加 藤：東京都武蔵野市 佐々木：群馬県みなかみ町土合地区  
 小 山：東京都あきる野市, 三頭山 桐 越：群馬県邑楽郡大泉町
- 9月 10 日～11 日 地理学野外実習 C (3年生実習：3泊 4 日：専任教員 7 名)  
 内 田：青森市とその周辺 磐 谷：和歌山県みなべ町とその周辺  
 岡 島：岡山市とその周辺 加 藤：北海道紋別市とその周辺  
 佐々木：沖縄県南城市とその周辺 小 山：岐阜県大垣市とその周辺  
 桐 越：大阪府柏原市とその周辺
- 9月 17 日 国士館大学地理学会 研究発表会・講演会・懇親会  
 ＜研究発表会＞村場楓汰／大久保陽広／青山 藍／竹澤麻衣・安坂茜音／高麗雅巳／石川実生／齊藤 聖・棚橋 尊 (10号館 10212 教室；講演会も同)
- 9月 30 日～10月 1 日 ＜講演会＞中井達郎先生 (本学非常勤講師) 「自然保護は地理学だ！」
- 10月 20 日～23 日 ＜懇親会＞世田谷校舎 1号館 1階学生ホール
- 12月 20 日

## 【第22回 地理ワークショップの開催】

「アフリカ再発見：フィールドワークからひもとく現代アフリカ」  
2024年7月26日（土）9:50～16:30

09:50～10:00	開会の言葉・趣旨説明	桐越仁美（国士館大）
10:00～11:00	講演1 「温暖化によるアフリカの熱帯高山の氷河縮小が生態系や地域住民に与える影響」	水野一晴（京都大）
11:10～12:10	講演2 「ナミブ砂漠の環境変化による自然や社会の変容」	水野一晴（京都大）
12:10～13:10	昼食・休憩	
13:10～13:30	午前中のまとめ	
13:30～14:30	講演3 「都市と農村を架ける人びと」	桐越仁美（国士館大）
14:40～15:40	講演4 「アフリカ・イスラームの歴史と文化」	平山草太（東京大）
15:45～16:20	質疑	桐越仁美（国士館大）
16:20～16:30	まとめ・閉会の言葉	桐越仁美（国士館大）

国士館大学地理学教室では、大学の研究成果や教育の成果を社会・教育界へ還元するという主旨で、2001年度より「地理ワークショップ」を開催しています。今年度は7月26日（土）に第22回地理ワークショップを34号館2階B203教室において開催しました。テーマはアフリカ地誌としました。今回のワークショップでは、テレビ番組『プラタモリ』にも出演された水野一晴先生と、カメリーンのイスラームを研究する平山草太先生をお招きし、アフリカの多様性や人々の生活の実態を知る機会にしたいと考えました。

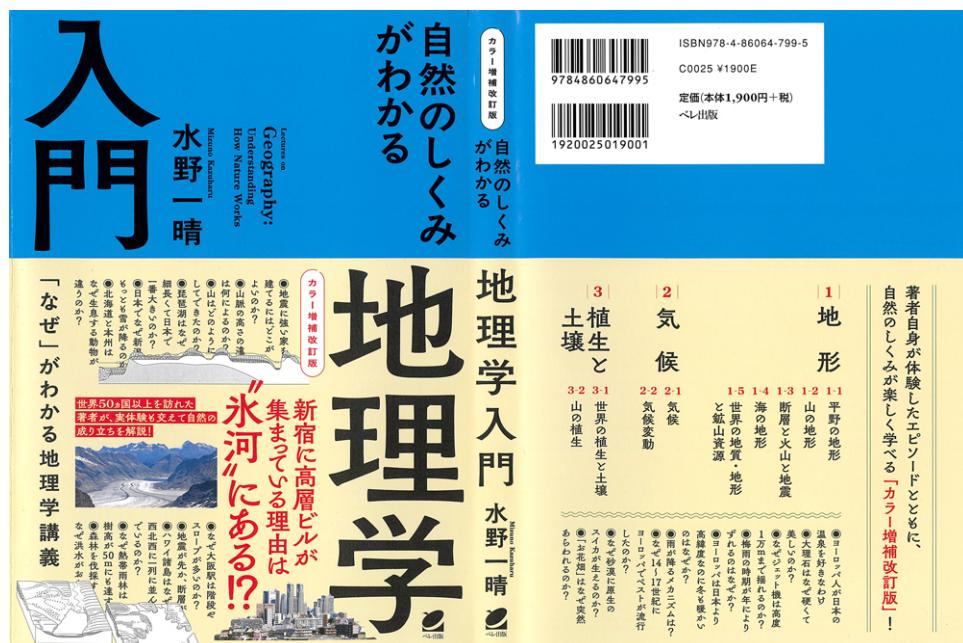
参加者は54名で、首都圏のみならず東北からの参加者もありました。また、今年も地理の教科書を発行する出版社からの参加もありました。

午前中は、本学での非常勤講師経験もある水野一晴先生が登壇し、アフリカの熱帯高山と砂漠をテーマに生態系や人びとの生活の変化についての講義を行いました。調査開始時からのダイナミックな自然環境の変化と、それに伴う社会変容にもフォーカスし、現代アフリカにおける人と環境の結びつきを様々な側面から捉えました。

午後は、アフリカの都市と農村間を行き来する経済移民の実態について、本学教員の桐越が講義しました。ガーナのカカオ生産に着目し、歴史的な交易を基盤にした人びとの移動によって国の基幹産業であるカカオ生産がどのように支えられているのかを示しました。その後、本学で今年度より非常勤講師を務められている平山草太先生が登壇し、アフリカにおけるイスラーム拡大の歴史を俯瞰したのち、カメリーンにおけるイスラームの実践について講義しました。講義では、カメリーンの人びとによるクルアーンの学びと身体化にみる文化的特性を明らかにしました。

講義後には、質疑・討論も予定時間を超えて活発に行われました。もともとアフリカに関心のある参加者も多く、かなり専門的な質問も出されました。

（桐越仁美）



← 水野一晴先生近著  
(表紙)

地理ワークショップの前日発行の著書で、同名著書のカラー増補改訂版です。ワークショップ会場にても頒布したところ、水野先生が事前に出版社から取り寄せ・用意していた分は、ほぼ完売しました。

プラタモリにおいて解説されていた京都の地形の話や先生が世界的に評価されているケニヤ山の地生態学的研究成果についても分かりやすく解説されています。

## 【2025年度地理実習の記録】

### 地理学野外実習A：5月21日（水）・22日（木）に日帰り2日にて実施

#### ◎ 内田・岡島・磯谷・加藤・佐々木・小山・桐越

実施地：川崎市麻生区黒川地区・多摩キャンパス

参加学生数：74名（男子61名、女子13名）

テーマ：丘陵地の自然環境と人間生活

目的：多摩地区における丘陵地の土地利用に関する調査を行い、地形と土地利用の関係、都市化や宅地化の進行の特徴やその要因等について考察することを通じて、地理調査や地理的思考法の基本を体得する。

課題：図表を含めて400字詰め原稿15枚以上相当のレポート。

提出日時・・・7月1日（火）「地理学入門ゼミ」講義時間中に提出。



写真1 黒川地区調査中



写真2 現在位置確認中（2班寄れば文殊の知恵？）

### 地理学野外実習B（2年生対象）：9月30日（火）～10月1日（水）に1泊2日にて実施

#### ◎ 内田

実施地：静岡県静岡市、島田市、金谷町、掛川市

参加学生数：4名（男子4名）

テーマ：風景の鑑賞法と観光地の場所イメージの解説

内容：①旧東海道にまつわる代表的な観光コンテンツを風景論の視点から記述し、その地域性に基づき比較する。②地元の自治体や観光業者が、その場所のイメージをどのように利用しているかを、記号論的な観点から考察する。

課題：レポート1：旧東海道にまつわる観光コンテンツの風景の特徴とその地域性について／レポート2：観光地の記号としての「観光イメージ（観光コンテンツ）」



内田班：旧東海道金谷宿～島田宿 大井川を歩いて渡る

#### ◎ 岡島

実施地：神奈川県小田原市・箱根町

参加学生数：13名（男子12名、女子1名）

テーマ：近世城下町小田原の近現代における変遷

内容：小田原の城下町としての構造が、近現代においてどのように受け継がれてきたか。いかなる変化を受けて現在に至っているか。町の現状と変遷過程を明らかにする。

課題：標記のテーマについて所定の分量のレポートを作成する。なお夏休みに事前学習を行っている。



岡島班：宿舎前での集合写真

## ◎ 磐谷

実 施 地：山梨県山中湖村平野地区

参加学生数：15名（男子12名、女子3名）

テ 一 マ：夏緑広葉樹林帯の植生と野生動物

内 容：山中湖村平野地区の低地から山地部にかけての地域でみられる植生や野生動物の生態地理について踏査。観察されたおもな植生はミズナラ二次林、ススキ草原、カラマツ植林など。野生シカの痕跡が目撃されたほか、シカ不嗜好植物の繁茂も観察された。リゾート地域の植生景観という視点からの観察も行った。

課 題：植生図の作成とその凡例についての記述を中心に、図表を含めてA4版20枚程度のレポートとしてとりまとめる。



磐谷班：火入れによって維持されている  
明神山のススキ草原にて

## ◎ 加藤

実 施 地：東京都武蔵野市

参加学生数：3名（男子2名、女子1名）

テ 一 マ：東京都武蔵野市におけるコンビニエンスストアの立地展開

内 容：対象地域におけるコンビニエンスストアの立地について、過去のデータと比較しながら、その変遷を把握し、立地の要因を考察する。

課 題：調査結果に関する図表を作成し、調査結果にまとめた内容についてレポートする。



加藤班：2日目調査地に向か宿を出発

## ◎ 佐々木

実 施 地：群馬県みなかみ町土合地区（湯檜曽川、天神平）

参加学生数：11名（男子9名、女子2名）

テ 一 マ：多雪山地における地形と植生の観察

内 容：みなかみ町土合地区の湯檜曽川上流部において、多雪地域の山地に典型的にみられる地形と植生景観を観察した。1日目：ロープウェイで天神平へ、俎倉（まないたぐら）の氷食地形・上越国境稜線の化石周氷河性平滑斜面を遠望、形成過程を考察。2日目：マチガ沢出合まで踏査。積雪挙動に關係する植生景観や雪崩地形を観察、成り立ちを考察。湯檜曽川の河成段丘の露頭を観察し、礫の形状や大きさ、基質の性質など堆積物の特徴を調査。

課 題：調査結果とそれらにもとづく考察をA4版20枚程度のレポートにまとめる。



佐々木班：宿泊したホテルを背景に記念撮影

## ◎ 小山

実 施 地：東京都あきる野市、三頭山

参加学生数：15名（男子14名、女子1名）

テ 一 マ：あきる野市および三頭山の地形・地質と自然災害を読み解く

内 容：①東京都あきる野市近辺の段丘を中心とした地形の成り立ちを学びながら、地形と自然災害との関連について考察する。②三頭山における地形・地質および植生分布を観察しながら、関東山地の成り立ちについて考察する。

課 題：調査結果（簡易測量やスケッチなど）と事前課題（あきる野市における土地利用図と段丘区分図の作成）に基づく考察を、A4版20枚程度のレポートにまとめる。



小山班：三頭山の岩塊流にて

## ◎ 桐越

- 実 施 地：群馬県邑楽郡大泉町  
参加学生数：7名（男子4名、女子3名）  
テ 一 マ：群馬県邑楽郡大泉町におけるエスニック・ビジネスの現状  
内 容：群馬県大泉町におけるブラジル系のエスニック・ビジネスの立地や集積の様態を把握することを目的とする、具体的には、関連する先行研究を読んだうえで、2日間を通じてエスニック・ビジネスやその周辺施設の分布調査をおこなう。調査後に先行研究との比較をおこない、大泉町におけるエスニック・ビジネスの現状についての分析を行う。  
課 題：先行研究と比較するかたちで、調査結果にもとづいた内容をレポートにまとめる。



桐越班：宿泊先のホテルにて記念撮影

## 地理学野外実習C（3年生対象）：10月20日（月）～23日（木）に3泊4日にて実施

### ◎ 内田

- 実 施 地：青森市とその周辺  
参加学生数：6名（男子6名）  
テ 一 マ：学生各自でテーマを設定し、現地調査を行う。  
内 容：「聖地巡礼に対する地域住民の意識」「観光地三内丸山遺跡における来訪者の目的と行動の特徴」「三沢市における米軍基地の観光資源化について」「弘前公園における利用者の行動特性」「津軽地域における津軽塗の観光的展開とその位置づけ」「地域シンボルへのゲストとホストの支払意思額に現れる差異—金木町の地域シンボルである太宰治を例に」  
課 題：各自設定したテーマにしたがって、現地で得たデータをもとに分析・考察を行う。



内田ゼミ：宿泊したビジネスホテル前で

### ◎ 岡島

- 実 施 地：岡山市および周辺地域  
参加学生数：6名（男子6名）  
テ 一 マ：歴史地理学・交通地理学などに関する地域調査  
内 容：山陽道矢掛宿の景観と変遷、人工的な水の道と近代化後も消えなかった舟運、岡山市支線バス「FLAT」の現状と課題、デマンド型交通の運営関係者別にみた認識の違い、下津井循環バス「とこはい号」の利用者数とその実態、中庄地区の都市発展と未来像。  
課 題：各自のテーマについてのレポート作成。



岡島ゼミ：夕食風景

### ◎ 加藤

- 実 施 地：北海道紋別市とその周辺  
参加学生数：7名（男子4名、女子3名）  
テ 一 マ：各自が設定したテーマにもとづいた現地調査・地域調査を行う。  
内 容 例：紋別市中心商店街の現状と課題、紋別市の水産加工業—ホタテ流通を中心にー、紋別市の観光とその季節感変動  
課 題：各自のテーマについて、『卒業論文の手引き』にもとづき、レポートをまとめる。



加藤ゼミ：紋別バスターミナルでの集合写真

## ◎ 桐越

実施地：大阪府柏原市周辺

参加学生数：9名（男子5名、女子4名）

テーマ：各自が設定したテーマにもとづいた現地調査・地域調査を行う

内容例：羽曳野市におけるブドウ生産とワイン醸造の実態、千早赤阪村における地域おこしと空き家利用の実態、大阪府における視覚障害者を対象にした音声案内の実情、柏原市における外国人居住者のコミュニティ形成、大阪府におけるダイビングショップの立地特性、奈良市もちいどの商店街の再生事業、大阪に来ている外国人観光客の行動特性。

課題：各自のテーマについて、『卒業論文の手引き』にもとづき、レポートをまとめる。



桐越ゼミ：宿泊先のゲストハウスにて記念撮影

## ◎ 磯谷

実施地：和歌山県みなべ町とその周辺

参加学生数：8名（男子5名、女子3名）

テーマ：紀伊半島南西部の生態地理

内容：和歌山県みなべ町付近でみられる動植物の生態地理について、各自が事前にテーマを設定して調査した。具体的テーマは、ウバメガシニンジンの樹形とその生態地理、河辺草原の組成・分布と環境条件、海岸性大型鳥類の生態地理、河川性大型鳥類の生態地理、アカウミガメ産卵場所の環境条件、河川性魚類・甲殻類群集の生態地理、であった。

課題：図表を含めてA4版30枚程度のレポートとしてとりまとめる。



磯谷ゼミ：4日間の調査が無事に終了し、お世話になった宿舎の前にて。

## ◎ 佐々木

実施地：沖縄県南城市とその周辺

参加学生数：13名（男子10名、女子3名）

テーマ：各班の設定したテーマに基づく現地調査

内容例：島尻層群に形成された地すべり地形の特徴、南城市的地域防災の可能性、城郭跡と地形の関係解明、南城市における津波災害のリスク評価、南城市・八重瀬町における赤土流出の実態解明など。

課題：調査結果とそれにもとづく考察をA4版30枚程度のレポートにまとめる。



佐々木ゼミ：お世話になったホテルの前で。

## ◎ 小山

実施地：岐阜県大垣市とその周辺

参加学生数：12名（男子11名、女子学生1名）

テーマ：学生自らが設定したテーマに基づいて班を構成し、それぞれ現地調査を行う。

内容：①杭瀬川および揖斐川沿いにおける土地利用と水質調査（水文班）、②沖積平野の微地形測量と浸水リスク（水害班①）、③水害常襲地域における住民の防災意識（水害班②）、④池田山および養老断層における変位地形（活断層班）、⑤揖斐川中流域における蛇行州の変遷（河川地形班）

課題：調査結果に基づく考察を、A4版30枚程度のレポートにまとめる。



小山ゼミ：調査後のミーティングと作業の様子

## **地理学野外実習D（2年生以上対象）：コースによって実施日は異なるため実施日順に紹介します。**

### **◎ 加藤**

実 施 日：2025年4月26日（土）

実 施 地：東京都品川区とその周辺

参加学生数：3名（男子3名）；佐々木先生が補助で参加  
テ　一　マ：工業地区としての品川とその周辺－歴史と現在－  
内　　容：テーマについて理解するための現地見学を行

う。見学先は以下のようなところ。光学通り  
／大井町駅付近／広町工業団地・工場アパー  
ト／大崎シンクパーク（ソニーダイ崎工場跡）  
／旧東海道／品川神社・富士塚／品川インタ  
ーシティ／高輪・白金台地区

課　　題：エクスカーションで学んだこと・興味あった  
ことについて、レポートをまとめる。



加藤コース：西大井駅に集合（佐々木撮影）

### **◎ 小山**

実 施 日：2025年5月17日（土）

実 施 地：茨城県筑波研究学園都市

参加学生数：12名（男子11名、女子1名），大学院生2名  
テ　一　マ：筑波研究学園都市に所在する各研究機関を巡  
り、展示物の見学を通じて地形・地質、リモ  
ートセンシング、地図、測量などに関する理  
解を深める。（荒天のため予定を変更した）

内　　容：産業技術研究所「地質標本館」（地形・地質  
の学習），JAXA「スペースドーム」（リモ  
ートセンシング、人工衛星の学習），国土地  
理院「地図と測量の科学館」（地図・測量の  
学習）の見学

課　　題：研究機関で見学した展示物等の内容と教員の  
解説に基づいて、各自の考察をA4版10枚程  
度のレポートにまとめる。



小山コース：国土地理院「地図と測量の科学  
館」にて

### **◎ 桐越**

実 施 日：2025年5月24日（土）

実 施 地：東京都中央区 築地駅周辺地域

参加学生数：6名（男子6名），大学院生2名

テ　一　マ：GPSを用いたトラックデータの取得方法とG  
PSのデータを地図上に表示させる方法を知る  
内　　容：東京都中央区、築地周辺地域においてGPSを  
用いた面積測定をおこなった。その後、外国人  
人居留地跡などの記念碑をグループごとに回  
り、GPSにトラックデータを記録した。最後  
に聖路加ガーデンにて、築地駅周辺地域の歴  
史的変遷に関する解説をおこなった。

課　　題：GPSの計測結果をGoogle Earth上に示すと  
ともに、調査内容にもとづいたレポートをま  
とめる。



桐越コース：実習終了後の集合写真

### **◎ 磯谷**

実 施 日：2025年5月31日（土）

実 施 地：国立科学博物館附属自然教育園（東京都港  
区），明治神宮「御苑」（東京都渋谷区）

参加学生数：7名（男子5名、女子2名），大学院生2名  
テ　一　マ：都心に残された武蔵野台地の地形と植生

- 内 容**：都心でありながら武蔵野台地（下末吉面淀橋台）の原地形が残されている白金の自然教育園と明治神宮「御苑」にて、地形と植生の観察を行った。午前中は自然教育園にて、自然性の高い森林植生や谷津に広がる湿地の草原などを観察した。その後、目黒～原宿駅間の移動時間を含む昼休みの後、明治神宮前で集合、「御苑」での観察を行った。御苑では、武蔵野の雑木林の名残の森や、かつて水田だった谷津に広がる菖蒲園の様子などを観察した。
- 課 題**：上記の内容を踏まえつつ、参加者各自の視点を重視したレポートを作成する。



磯谷コース：明治神宮「御苑」内の東屋にて。

### ◎ 内田

- 実 施 日**：2025年6月14日（土）  
**実 施 地**：栃木県真岡市、茂木町  
**参加学生数**：2名（男子2名）  
**テ ー マ**：観光地のイメージの解説：真岡鐵道沿線の歴史と観光
- 内 容**：真岡鐵道を使って沿線の3つの歴史都市を移動し、各地の観光スポットを徒步で巡りながら解説する。同時に、真岡鐵道および沿線都市がSL列車の運行を地域の観光にどのように結び付けているかについても観察する。
- 課 題**：「真岡・茂木の風景の特徴について」と「真岡・茂木の「観光イメージ」について」レポートをまとめる。



内田コース：久保記念観光文化交流館で（真岡市）

### ◎ 佐々木

- 実 施 日**：2025年6月28日（土）  
**実 施 地**：神奈川県藤沢市・江の島  
**参加学生数**：22名（男子17名、女子5名）  
**テ ー マ**：江の島にみられる地形の観察
- 内 容**：江の島の平坦面をつくる3段の海成段丘面を踏査し、高度分布を確かめる。段丘面に載るローム層とそれに介在する火山灰層を観察し、海成段丘面の離水年代を考察する。海岸に沿って分布する隆起波食棚において簡易測量を行い、関東地震による地盤の隆起量を明らかにする。江の島到着時に観察した海面高と解散時のそれを比較し、潮位の変化を把握する。
- 課 題**：調査結果とそれらにもとづく考察をA4版・5枚程度のレポートにまとめる。



佐々木コース：隆起波食棚で簡易測量を実施している様子

### ◎ 岡島

- 実 施 日**：2025年9月17日（水）  
**実 施 地**：世田谷区内  
**参加学生数**：4名（男子3名、女子1名）、大学院生2名  
**テ ー マ**：世田谷の歴史地理
- 内 容**：テーマについて理解する巡検を行う、訪問先是次の通り。三軒茶屋道標・キャロットタワー・展望台、旧世田谷代官屋敷・世田谷区郷土資料館、世田谷城址公園・豪徳寺、成城学園住宅地、次大夫堀公園・民家園、竹山緑地・稻荷塚古墳、野毛大塚古墳・等々力不動。
- 課 題**：標記のテーマについて所定の分量のレポートを作成する。



岡島コース：野毛大塚古墳にて

## 【卒業論文公開口頭試験について】

地理学教室では、卒業論文の審査が公平になされるよう各々の論文を2名の教員が閲読し、さらに公開口頭試験の結果を加味して合否を決めています。今年度も下記の通り、卒業論文の口頭試験が行われ、試験の結果から卒論の評点が決まります。試験は、持ち時間9分の口頭発表とそれに続く質疑応答です。発表者はあらかじめ卒論の要旨、図表などをまとめたレジュメを用意し、出席者に配布できるよう準備してください。また、質疑応答の際に必要な卒業論文のコピー、その他卒論作成に使用した資料や参考文献のコピーなどは、必ず持参してください（公開口頭試験の際に提示を求められる場合があります）。これらは卒論の合否が決まるまで処分しないこと。

就職が決まり、試験当日に社内研修などが予定されている4年生は、就職予定先に事情を説明し、研修等の欠席手続きを済ませておくようにしてください。

なお評価の結果、優秀な卒論2編は、全国地理学専攻卒論発表大会（2026年3月上旬に開催）で発表してもらいます。発表者は2月7日中に決定し、すぐに通知する予定です。また、優秀な卒論は修正のうえ国士館大学地理学報告に掲載してもらう予定です。これも2月7日中に決定し、連絡します。

日 時：2026年2月5日（木）、6日（金）、7日（土） 10:00～  
場 所：世田谷校舎 10号館2階 10212教室

### 注意事項（4年生はよく読んでおくこと）：

※ 試験時間は、1人18分（発表9分、質疑応答9分）です。発表者は発表用原稿を必ず用意し、あらかじめ発表の練習をしておくこと。発表の内容はもちろん、発表の手際や発表の態度なども審査の対象となります。なお、発表時は予鈴7分、本鈴9分の合図があります。

※ 発表に際しては、必ず以下の要領でレジュメを用意しておくこと。レジュメの文字部分は基本的にワープロによって作成のこと。図表等のタイトル・注も同じ。図表ははさみと糊で切り貼りしても構わないもので、鮮明に見えるようにすること。

1. レジュメは、論文題目、氏名、論文の要旨（目的・方法・結果を書く。字数が多くなりすぎないようにするとよい），説明に使用する図表によって構成する。
2. レジュメの枚数は、A3サイズで2枚横書き（図表を含む）とし、各自40部ずつ用意する（自費でコピーのこと）。図表がカラーでないと判別しにくい場合はカラーコピーするか、口頭試験用に図表を白黒で描き直すこと（発表時の図表の不鮮明さが評価を下げる・減点につながることもあるので注意のこと）。
3. レジュメは、発表者交代の合間に次の発表者が配るものとする。その際、はじめに教員に配ること。各日の朝一番目の発表者で、責任を持って依頼できる学友がいる人は、前日の最終発表者のレジュメ配布を学友に頼んでも構わない（ただし問題があれば責任は依頼した人にあるので、注意のこと）。
4. レジュメの文章をそのまま読むような発表は控えること。口頭試験用の発表原稿を別に用意して、発表することが望ましい。

※ 発表では、パワーポイントも使用できる。使用するパソコンは原則として教室備え付けのパソコンを使用すること。発表用ファイルは、午前に発表の者は発表当日の朝、午後に発表のある者は昼休みにパソコンのデスクトップにコピーしておくこと。発表時にUSBメモリー等から起動すると、手間取るケースが多い。自分のPCにケーブルを差し替える場合も同様である。それらの時間も発表時間に含めるので、あらかじめ用意のPCにコピーしておく方法で行うこと。

※ 地域調査士の資格取得に向けては審査前事前請求制度があり、3月中に認定証を受け取ることができます。資格取得希望者は、1月末（以降）に日本地理学会資格専門委員会から郵送される書類を熟読し、同封されている申請書に必要事項をすべて記入のうえ（顔写真も必要）、口頭試験日程期間中に主査へ提出すること。その後、副査が記名・押印し、一括して返却する。この機会をのがすと「地域調査士認定委員会が指名する者の認定」が面倒なことになるので、卒業予定者は必ずこの機会に行うこと。

※ 3年生は卒論作成の参考のため、また来年の口頭試験のためにも、出席して複数のセッションを聞くようになります。1、2年生もできる限り1日以上は出席のこと。2年生にとっては3年以降の専門分野（ゼミ）の選択する上で、もっとも参考になる行事なので、多くの発表を聞くことが自分のためにもなります。

※次頁以下は、口頭試験のプログラムです。

表中の「地調」は地域調査士資格、「GIS」はGIS学術士資格の申請者を示す。

## 【2025年度卒業論文公開口頭試験日程】

氏名	題目	主査	副査	地調 GIS
2月5日(木)	10:00~12:00 <進行: 磯谷>			
吉田 天生	地方鉄道廃止における行政間調整と住民意見 一日立電鉄線を事例にー	岡島	加藤	
若谷 凱	ソウル市における駅・バス停間の徒歩アクセシビリティに関する研究	岡島	内田	
大久保 彩香	北陸地方の梅雨期降水にみられる年々変動とその気象環境要因	佐々木	磯谷	○
高橋 快空	東京都23区における楽器店集積地について —都心専門小売業の空間的特化と機能分化—	桐越	加藤	
山田 和侍	静岡県浜松市における注染そめ産業の後継者問題	桐越	加藤	○
大河内 福ノ介	多摩川中流域における流路の変遷と外来植物の侵入 ーとくに丸石河原に注目してー	磯谷	小山	○ ○
	12:55~14:50 <進行: 加藤>			
菅野 一生	近年の東京都内における夏季の熱帯夜の地域特性	佐々木	磯谷	○ ○
佐藤 健人	荒川水系高麗川中～上流域における水生動物群集の分布とその環境条件	磯谷	小山	○
吉井 慧	多摩川下流域におけるBODおよびCODの変動特性と都市河川水質の評価	小山	磯谷	
吉川 慧子	広島県安芸高田市における社寺境内に生育する樹木の樹種構成とその分布特性	磯谷	内田	○ ○
菅原 悠人	千葉県市川市ゆうゆうロード商店街における変容と現状	加藤	岡島	○ ○
坂本 恋奈	埼玉県飯能市の入間川上中流部における河成段丘の形成過程	佐々木	小山	○ ○
	15:00~17:10 <進行: 佐々木>			
渡辺 寛太	福島県吾妻連峰東麓、白津川流域における火山泥流の反復的な流入と河成段丘の形成	佐々木	小山	
佐藤 純磨	埼玉県春日部市豊春地区における大学生の外出行動の特性	内田	岡島	○ ○
畠山 樹武	東京都大田区における保険薬局の立地展開	加藤	内田	○ ○
城戸 七海	都市開発がもたらす地域の変化と住民への影響 —江東区豊洲地区を対象に—	桐越	岡島	
高 晴ショウ	房総半島鴨川地域における完新世海岸段丘の分布と旧汀線高度	小山	佐々木	○
前田 悠佑	地方都市における路面電車の現状と課題－万葉線を事例に－	岡島	加藤	
鶴田 りさ	東小路飲食店街における飲食店の継承と持続可能性 —大井町駅前再開発がもたらす影響について—	桐越	加藤	

<b>2月 6日 (金)</b>	<b>10 : 00~12 : 00 &lt;進行：岡 島&gt;</b>			
大竹 文也	大久保商店街における商業環境の変化と組織の役割	桐越	加藤	
田村 碧惟	黒川流域における氷河地形と氷河前進期	佐々木	小山	
橋本 桃	栃木市における歴史的町並みの現状と観光振興	岡島	内田	
片岡 航太	長野県野沢温泉村における宿泊業に関する外国人観光客の受け入れ態勢の現状と分析	内田	桐越	○
松田 桜太朗	三頭山南東部における岩塊斜面の分布と形態	小山	磯谷	○ ○
井口 鼓太	千葉県における大型スーパーの立地展開	加藤	岡島	○ ○

	<b>12 : 55~14 : 50 &lt;進行：小 山&gt;</b>			
桑原 拓夢	千葉県内房地域における局地的大雨発生日の特徴	佐々木	磯谷	
飯塚 翔平	宇都宮芳賀ライトレール線の現状と利用状況	岡島	加藤	
古矢 駿	都道府県別に見た温泉地のイメージに関する研究 —テキストマイニングを用いた新聞記事の分析—	内田	岡島	
正木 颯太	外秩父山地の小規模な谷地形における夜間気温分布	佐々木	桐越	
大草 啓希	千葉県勝浦市における朝市の二重機能 —「勝浦朝市」を事例に—	桐越	内田	
高田 みつき	南アルプス北部、農鳥岳周辺における周氷河環境	小山	佐々木	○ ○

	<b>15 : 00~17 : 10 &lt;進行：桐 越&gt;</b>			
外尾 遥希	高麗丘陵における飯能礫層と谷頭微地形の関係	小山	磯谷	○
山崎 雅弘	八ヶ岳連峰赤岳南麓天の河原における砂礫地の維持機構	小山	磯谷	○ ○
田澤 俊怜	関東地方南部の内陸域と沿岸域における生垣の分布および樹種構成とその形成要因—三鷹市と鎌倉市における土地利用変遷に着目して—	磯谷	岡島	○ ○
菅野 佐和	冬季積雪下における会津坂下町の市街地と農地の気温および積雪環境について	佐々木	小山	○
青木 陽菜乃	鎌倉における観光客のSNSの利用と観光行動	桐越	内田	
高橋 稲汰	千葉県市川市におけるフィットネスジムの立地展開	加藤	桐越	
森崎 彩乃	埼玉県鴻巣市におけるひな人形産業の変遷	桐越	加藤	○ ○

<b>2月 7日 (土)</b>	<b>10 : 00~12 : 00 &lt;進行：内 田&gt;</b>			
大越 貴広	『地理学評論』(1925- 2024年)における研究動向の総合的分析 —数量的・空間的・語彙的分析による100年の変遷—	内田	加藤	○ ○
今井 優希	関東平野南部における夏季の海風が気温分布に及ぼす影響	佐々木	磯谷	○

橋野 和志	伊豆大島における海岸浸食と岩石硬度の関係	小山	磯谷	○
岡村 珠樹	沖縄県伊平屋島・野甫島におけるビーチロックの形態と固結度の空間的評価	佐々木	磯谷	○
蟻川 慎平	土浦駅、つくば駅、研究学園駅から見る建物の地域構造分析	桐越	岡島	○
小幡 航成	南アルプスにおける氷河地形の分布特性と平衡線高度の推定	小山	佐々木	○

#### 12:55~14:30 <進行：加 藤>

宗藤 光希	球磨川流域における降水特性の変化と災害発生要因の分析	佐々木	桐越	○	○
市座 舜也	令和6年能登半島地震における液状化被害の評価～能登地域西部の地形分類図を用いて～	佐々木	内田		
松本 洋樹	酒匂川河口部における河口砂州の面積変化とその要因	小山	磯谷		
木下 涼介	秩父市浦山地区における山間集落の生活実態と持続可能性	内田	桐越		
木村 太陽	未成となった鉄道事業に関する地理学的研究 －西武鉄道の事業を例に－	岡島	内田		

#### 【国士館大学地理学会費の納入について】

下記に掲げる学生は、国士館大学地理学会費（4年分・12,000円）が未納となっていますので、至急支払ってください。地理学教室では4年分の会費を納めていない学生については、卒業を認めていません。会費未納者は、必ず1月末日までに郵便振替で会費を納入すること。

振替用紙は郵便局にありますので、「口座番号：00150-7-161762、加入者名：国士館大学地理学会」へ、通信欄に自分の学年・学籍番号・氏名を記入のうえ、12,000円を窓口またはATMで振り込んでください（ATMでの振込のほうが手数料は安くなります）。

とくに4年生の未納者は、卒論口述試験が行われる前に納入を済ませてください。卒業に差し障ります。

(注：疑問・質問等は会計担当の加藤まで連絡して下さい。なお、上記は2024年12月25日時点での未納者です。)

#### 【地理学教室が発信する各種情報のQRコード】

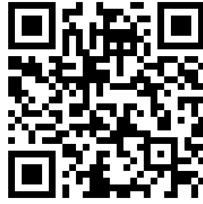
地理学教室ではニュースレターの他に、ホームページ、フェイスブック、インスタグラムでも情報を発信しています。ぜひご覧ください。



ホームページのQRコード



フェイスブックのQRコード



インスタのQRコード